



# GRreeeeN 県民大賞



NHK連続テレビ小説「エール」の主題歌「星影のエール」をヒットさせたGRreeeeN

## 歌で「故郷」に「エール」

県内で大きな功績を残した個人・団体を顕彰する第31回みんゆう県民大賞(福島民友新聞社主催)の受賞者が決まった。芸術文化賞に郡山市ゆかりの音楽グループ「GRreeeeN(グリー)」が輝き、スポーツ賞はバドミントン混合ダブルスの東野有紗さん(25)と渡辺勇太さん(24)・日本ユニシス・富岡高卒のペアが選ばれた。ふるさと創生賞には南相馬市の作家柳美里さん(53)と福島医大放射線健康管理学講座教授の坪倉正治さん(39)が選出された。

### みんゆう県民大賞

- 歴代受賞者・団体 (敬称略)
- 第1回 松浦京(浪江町出身)
  - 第2回 安積女子高合唱団(郡山市)
  - 第3回 佐藤浩(郡山市)
  - 第4回 童劇アーボ(会津若松市)
  - 第5回 該当なし
  - 第6回 いなほ睦友会(旧東和町)
  - 第7回 アミーゴ・川俣(川俣町)
  - 第8回 田村高陸上競技部男女駅伝チーム(三春町)
  - 第9回 宮森輝雄(会津若松市)
  - 第10回 千葉の家花柳座(楡枝桜村)
  - 第11回 すかかひ国際短編映画祭実行委員会(須賀川市)
  - 第12回 只見音楽研究会(只見町)
    - ▽特別賞=高橋藤樹(福島市)
  - 第13回 本田武史(郡山市出身)
  - 第14回 かんを考える・ひらさきの会(福島市)
  - 第15回 阿部一郎(福島市)
  - 第16回
    - ▽芸術文化賞=柳橋歌舞伎保存会(郡山市)
    - ▽スポーツ賞=福島大陸上競技部(福島市)
    - ▽ふるさと賞=七日町通りまちのみ協議会(会津若松市)
  - 第17回
    - ▽芸術文化賞=青戸可一(郡山市)
    - ▽スポーツ賞=鈴木基史(猪苗代町)
    - ▽ふるさと賞=斎藤弘二(二本松市)
  - 第18回
    - ▽芸術文化賞=弘山二合合唱部・管弦楽部(郡山市)
    - ▽スポーツ賞=今井正人(南相馬市出身)
    - ▽ふるさと賞=長沼まつ実業委員会(須賀川市)
    - ▽特別賞=南カリアフォニア県人会
  - 第19回
    - ▽芸術文化賞=横山幸子(伊達市)
    - ▽スポーツ賞=佐藤敦也(会津若松市出身)
    - ▽ふるさと賞=二瓶義典(二本松市)
  - 第20回
    - ▽芸術文化賞=知々田徳勝(会津下町)
    - ▽スポーツ賞=増子恵美(三春町)
    - ▽ふるさと賞=バングラバスの育てる会(福島市)
  - 第21回
    - ▽芸術文化賞=遠藤千晶(福島市出身)
    - ▽スポーツ賞=チームミスデル(猪苗代町)
    - ▽ふるさと賞=福島子どもをのぶる会(福島市)
  - 第22回
    - ▽芸術文化賞=和合亮一(福島市)
    - ▽スポーツ賞=柏原竜二(いわき市出身)
    - ▽ふるさと賞=安斎さと子(福島市)
    - ▽特別賞=浪江焼餅太田(浪江町)
  - 第23回
    - ▽芸術文化賞=MJCアンサンブル(南相馬市)
    - ▽スポーツ賞=桃田賢斗(富岡高卒)
    - ▽スポーツ賞=猪苗代中(高岡一中)バドミントン部
    - ▽ふるさと賞=遠藤清次(南相馬市)
  - 第24回
    - ▽芸術文化賞=長谷川ファミリー(福島市)
    - ▽スポーツ賞=酒井俊幸(石川町出身)
    - ▽ふるさと賞=渡辺為雄(いわき市)
  - 第25回
    - ▽芸術文化賞=西田敬行(郡山市出身)
    - ▽スポーツ賞=片平俊夫(福島市)
    - ▽ふるさと賞=田部昇子(三春町出身)
  - 第26回
    - ▽芸術文化賞=野口誠宏(郡山市)
    - ▽スポーツ賞=堂屋義秀(福島市)
    - ▽ふるさと賞=ふくしまの蔵蔵
  - 第27回
    - ▽芸術文化賞=弘山五合合唱部(郡山市)
    - ▽スポーツ賞=鈴木尚広(相馬市出身)
    - ▽ふるさと賞=なすび(福島市出身)
  - 第28回
    - ▽芸術文化賞=モルゴア・アカルテット
    - ▽スポーツ賞=斎藤聖也(福島市)
    - ▽ふるさと賞=福島高スーパースイム部
  - 第29回
    - ▽芸術文化賞=藤田弘訓(二本松市)
    - ▽スポーツ賞=
    - ▽ふるさと賞=全国郡商会对抗男子駅伝・福島県チーム
    - ▽ふるさと賞=創生賞=星野孝(金山町)

第30回は新型コロナウイルス感染拡大のため中止。

受賞した4個人・団体に は正賞の盾と副賞50万円が贈られる。 GRreeeeNは4人組 男性ボーカルグループで、 2007(平成19)年に「エール」の主題歌「星影のエール」をヒットさせ、数々のヒット曲を生み出し、躍、功績は、東日本大震災

と東京電力福島第1原発事 故からの復興に向けて歩む 県民を励まし、困難に立ち 向かう勇気を与えた。 各方面から推薦のあった 個人・団体を対象とした選 定委員会は福島市の福島民 友新聞社で開かれた。

選定委員会は鈴木正史 副知事を座長し、三浦浩志 福島大学長、菅野孝志JJA 福島五連会長、渡辺博美 商工会議所連合会長、小林 清一郎県民団体連合会長、 安藤勇樹県社会福祉協議会 副会長、助川浩一県教育庁

参考、中川成哉福島民友新 聞社社長が審議した。 みんゆう県民大賞は19 89(平成元)年度に創設さ れた。昨年新型コロナウイルス イルシ感染拡大で審査委員 会が臨時開催が難しくなっ たことから実施を見送った。

JR郡山駅のアラトトボム。電車が出発する間際、聞き慣れたメロディーが耳に届く。4人組ボーカルグループ「GRreeeeN(グリー)」のヒット曲「エール」だ。全国から訪れる人に郡山市の魅力を伝えようと、2015(平成27)年から流れている。

GRreeeeN 県内の大学で歯科医師を目指していたHIDE、navi、g2、SOHの4人で結成。2007年にシングル「道」でメジャーデビュー。メンバー全員が歯科医師免許を持つ。医療との両立のため、顔や本名を伏せて活動している。郡山市フロンティア大使にも任命されている。

JR郡山駅のアラトトボム。電車が出発する間際、聞き慣れたメロディーが耳に届く。4人組ボーカルグループ「GRreeeeN(グリー)」のヒット曲「エール」だ。全国から訪れる人に郡山市の魅力を伝えようと、2015(平成27)年から流れている。

## 心の復興の支えに



JR郡山駅前立っている扉のモニュメント。夢に向かって挑戦する若者たちへのエールが込められている

### 芸術文化賞

「福島で結成」に誇り GRreeeeNの話 大愛書 なこ(ナギ)でありながら、僕たちこ っつて福島は故郷で温かな人々や自然豊かな風土に囲まれた福島で結成できた」とは誇り。福島で過ごす日々、訪れた方に愛され続けるところであってほしいと願う。その思いを届け続けていきたい。

の尊さに気付いた土地。僕らの根幹に今もなっている。本県への愛着を感じる。 学生時代、メンバー(5)は県内各地に遊びに出掛けた。福島市飯野町のJJA NHK朝ドラ「エール」の主 演あいり藤を訪れた時にメンバーをつなぎ、円になって UFOを呼んだのが「思出 深い」と振り返る。 GRreeeeNは07年メ ジャーデビュー。メンバー は大学卒業後も歯科医師として働いて、音楽活動を続 けた。10年前に東日本大震災 が発生した時もメンバーは本 県にいた。リーダーHIDEは 現在は歯科医師として、東京 電力福島第1原発の20km圏内 で発災した直後の検視作業 に当たった。「自分の音楽を 棄ててしまった」と当時の衝撃 を語っている。 一方で「手を届けるように 音楽を被災地へ届けたい」と 思いから、楽曲を無料配信 したり、東北の人々が参加し